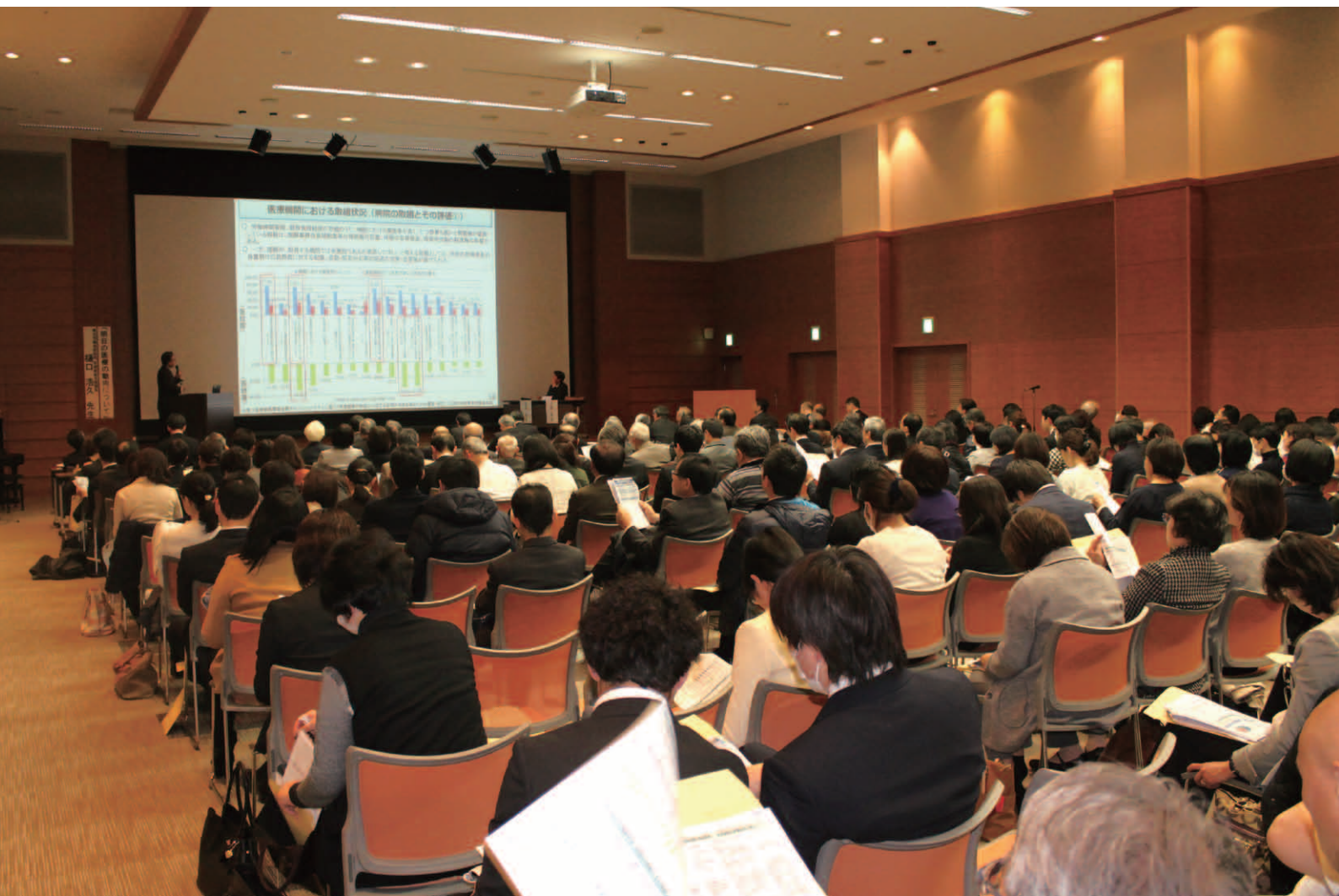


国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



【特集】

平成30年度 第2回 開放型病院連絡会

- VOICE
- くまびょう TOPICS
- いま、何が研究されているか 医療ソーシャルワーカー
- 外来新サービスのご案内
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 研修日程表

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 良質で安全な医療の提供 | 4. 教育・研修・臨床研究の推進 |
| 2. 政策医療の推進 | 5. 国際医療協力の推進 |
| 3. 医療連携と救急医療の推進 | 6. 健全経営 |

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

平成30年度第2回(通算46回) 開放型病院連絡会が開催されました



平成30年度第2回(通算46回)国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会を、去る2月23日(土)午後6時30分より、熊本医療センター2階地域医療研修センターにて開催いたしました。

開会にあたり、高橋院長より現状報告と日頃の病病・病診連携へのご支援に対し感謝を申し上げます。

続いて、開放型病院運営協議会委員長で、熊本市医師会会長の園田寛先生からご挨拶を頂き、全体会議に移りました。

全体会議では、中島歯科口腔外科部長より「誤嚥性肺炎の予後因子としての不顕性誤嚥」、原田救命救急センター長より「心肺停止患者に対する水素ガス吸入療法」と題しての症例提示が行われました。この後、渡邊地域医療連携室長より「地域医療連携室からのお知らせ」、菊川地域医療連携副室長より「紹介予約センターからのお知らせ」を行い、最後に熊本市歯科医師会会長の宮本格尚先生からご挨拶を頂き、全体会議を終了いたしました。

続いて、熊本市医師会理事の家村昭日朗先生に座長の労をおとり頂き、厚生労働省医政局医療経営支援課長の樋口浩久先生による特別講演「明日の医療の動向について」が行われました。

ご参加いただいた皆さまにおかれましては、お忙しいところ誠に有り難うございました。この会が、登録医療機関様と当院との連携を一層深め、地域医療を益々発展させる機会となれば幸いです。

(庶務班長 毛利安則)



厚生労働省医政局医療経営支援課長
樋口浩久先生



高橋 毅院長の挨拶



熊本市医師会会長
園田 寛先生



熊本市歯科医師会会長
宮本格尚先生



田中内科クリニック

院長 田中 英一郎



◆貴院のアピールをお願いします

平成最後の年、12月1日に田中内科クリニックを開院しました。医療現場でたたきあげられてきた内科医として広く疾患に対応しています。救急医療としての処置やプライマリ・ケアとしてのゲートキーパーをしますが、呼吸器系と消化器系は専門的機能を持って診療します。12月には肺炎の方々も受診されましたし、低酸素状態の方は救急車に同乗して救急病院に搬送もしました。腹痛の方々には胃カメラで胃潰瘍や十二指腸潰瘍の診断と治療が出来ました。またウイルス性肝炎の方々も国立病院と連携治療を継続しています。

これからも熊本医療センターなど市内の基幹病院と病診連携をとり後方支援を努めます。また在宅支援診療所ですので NPO 熊本ドクターネットの一員として診診連携もしていますし、認知症サポーター医として近隣の方々との相談にのり地域に貢献しています。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

スポーツや音楽、演劇は録画ではなくライブ(中継)を重視しています。華やかな場面や盛り上がる場面だけでなく、ミスしたり混沌としたところから変化が生まれる瞬間に感動するようです。人吉市では有床診療所の院



長を10年近くしましたが、桜が咲く頃の大畑駅(おこばえき)の風景が好きです。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

開放型病院の登録医になり6年経ちました。断らない医療を継続されるスタッフの方々の大変さと献身的なシーンを何度も見てきました。感謝しかありません。この6年間で病院内の雰囲気も連携室も変わりました。どの時間帯に訪問しても連携室では入院患者の状況を的確に説明され、病棟では担当看護師からも担当医も病状を説明されます。その場で退院のタイミングや転院後の流れが相談できます。開業医との連携をととても大切にされていると感じます。スタッフの方々が疲弊しないように願うばかりです。

【診療科目】

内科、呼吸器内科、消化器内科

【診療時間】

平日 午前 9:00 ~ 13:00 午後 14:30 ~ 18:30

土曜 午前 9:00 ~ 13:00 午後 14:00 ~ 16:30

【休診日】

日曜日、祝日

【住所】

〒861-8043 熊本市東区戸島西3丁目2-35

【TEL】

096 - 388 - 1122

地域医療連携室直通電話をご利用下さい

先生方には日頃より患者様の御紹介を頂きありがとうございます。

当院は、地域医療連携室へのお電話が繋がりにくいのご指摘を受け、直通電話を設置致しております。

この直通電話は、関係医療機関の皆様から頂くお電話のみをお受け致します。患者様からの直接のご相談は、代表電話を通じて承る予定です。

医療機関の皆様のための直通電話になります。ホームページ等では公表いたしておりませんので、ご了承下さい。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

地域医療連携室長 渡邊健次郎

地域医療連携室直通電話 **096 - 353 - 6693**

月～金(祝日を除く) AM 8:30 ~ PM 17:00



1月28日

熊本中央警察署より感謝状が贈られました



当院の使命である「救急救命医療」の活動が熊本中央警察署で認められ、1月28日(月)熊本中央警察署長から感謝状が贈られました。本感謝状は、当院が長年に亘る警察活動の重要性を理解し、犯罪捜査全般の支援施設として捜査に協力を行ったことに対するものです。当院の職員一人ひとりの心に根ざしている「24時間 365日断らない

救急医療」の成果が、このように行政から認められたことは大変励みになります。

事務部長
植松 裕
Hiroshi Uematsu



第100回「特別講演」開催

1月31日

熊本大学大学院生命科学研究部眼科学分野教授
井上 俊洋 (いのうえ としひろ) 先生



熊本大学医学部付属病院眼科学分野教授・井上俊洋先生に

よる教授就任記念講演が当院研修センターホールにて行われました。「緑内障診療の現状と、熊本病院眼科医局の紹介」と題して、緑内障の基本や、これまで井上先生が取り組まれてきた緑内障の臨床と研究の内容、新任の教授として医局運営への意気込みや目標についてお話し下さいました。フロアからは自覚症状のない緑内障への対応やリスクファクターに関する質問がありました。

眼科医長
榮木 大輔
Daisuke Eiki



1月28・31日

平成 30 年度

医療安全相互チェックを実施して



医療安全地域連携を目的に国立病院機構菊池病院と医療安全相互チェックを行いました。1月28日(月)に当院が菊池病院を訪問し、1月31日(木)には当院の7南病棟、薬剤部、検査科、リハビリテーション科をチェックしていただきました。精神科の離院防止対策に関する助言等もいただき、互いに課題や参考にてできる取り組みを見いだし、大変有意義な時間となりました。今後更なる医療安全の質向上へ繋げて行きたいと思えます。

医療安全管理係長
堂園 千代子
Chiyoako Dozono



「二の丸外傷セミナー」開催

2月3日



当院で8回目となる二の丸外傷セミナーが開催されました。午前中は座学を中心に講義をしていただき、午後からは模型を使って様々な設定の症例に対し primary survey、secondary survey を進めていくという実践練習が行われました。外傷に対する診療の進め方や着目する部分を学べ、とても有意義な時間となりました。今回学んだことを今後の診療に生かしながら、スキルを上達させていきたいと思えます。講師の先生方、今回は貴重なお時間を割いてご指導いただきありがとうございます。研修医1年目を代表してお礼申し上げます。

臨床研修医1年次
小野 明日香
Asuka Ono



第108回 看護国家試験
合格祈願に参りました

学 校



2月4日(月)大安吉日に加藤神社にて、第108回看護師国家試験の全員合格を祈願していただきました。当日は、学校長(病院長)、事務部長、看護部長も一緒に参拝しました。多くの方に見守られ、期待されていることをあらためて実感し、身の引き締まる思いでした。自分たちの持つ力を最大限に発揮できるように最後まで頑張ります。

附属看護学校 教員
橋口 清美

Kiyomi Hashiguchi



2月3日行事食
「節分」メニュー提供

栄 養



提供した献立

- 巻きずし、いなり
- 筑前煮
- 春菊のお浸し
- すまし汁
- 鬼饅頭

2月3日は、節分。夕食には、巻き寿司を手作りいたしました。また、鬼を食って邪気を払っていただくように「鬼饅頭」を手作りして提供しました。お味はいかがでしたでしょうか？

栄養管理室長
四元 有吏

Yuri Yotsumoto



診療支援部門より

放射線

国立病院機構九州グループ主催

平成30年度 診療放射線技師特定技能派遣研修会
「救急放射線(ER)セミナー」開催



ERセミナーは救急医療に関する基本的な講義と、放射線機器を利用した臨床技能研修並びに実技演習を行うことで、救急医療に関する知識の習得やメディカルスタッフとしての役割を理解していただくために4日間開催します。今年度参加した6名の受講生も、高橋院長の救急医療にかける熱い想いを受け取って自施設に戻られたと思います。

主任診療放射線技師(照射主任)

小園 二忠

Tsugutada Kozono



病院増改修
整備工事
NEWS!!!

工事再開しました！

先月から再開した病院増改修整備工事は、さっそくコンクリートの打設工事も始まりました。

駐車場の利用制限に加え、工事用大型車両の通行など皆さま方へはご不便をおかけして申し訳ありませんが、引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



今後のスケジュール予定

※スケジュールは、今後の工事進捗状況によって変更する場合があります。

増築棟新築工事 : Step 3 ~平成32年1月

外来棟改修工事 : Step 4 平成32年2月~平成32年11月

企画課 業務班長
安藤 隆幸

Takayuki Ando



平日夜間及び休日の身体合併症受入れ状況から見られる患者支援

医療ソーシャルワーカー 西迫はづき・安藤秀陞・新開貴夫・三浦由江・立花律子

当院は熊本県内の総合病院において精神科病床（50床）を有する唯一の救急医療機関であり、多くの精神科関連の救急患者を受け入れているという特色を持っています。また、熊本県・熊本市より「身体合併症救急医療確保事業」を受託しており平日夜間および休日の患者受け入れを積極的に行っています。今回はこの事業から見られる患者概況・特徴と熊本医療センター精神科における患者支援の取り組みについてご紹介したいと思います。

< 熊本県身体合併症救急医療確保事業から見る概要 >

- ◎年間件数：約 1950 件（月平均：約 161 件）
- ◎時間帯：平日夜間：17：00～翌 9：00、
祝 休 日：24 時間
- ◎特徴
 - ・紹介なしの患者が半数以上
 - ・50代以上が 7 割
 - ・身体疾患：心疾患、肺疾患、消化器疾患、外傷、自傷など多岐にわたる
 - ・精神疾患：認知症が 3 割 その他 統合失調症やうつ病、アルコール依存症などが約 5 割である
 - ・軽症者も含めると年間約 450 件の自傷患者受入れ（日勤帯含む）となっている。

このように最近の特徴の一つとして自殺企図患者の救急搬送が増加傾向にあり、精神科救急医療の取組みとして、

自殺企図後の患者支援フォロー体制を構築中です。私たちソーシャルワーカー（以下、SW）もケースマネージャー（以下、CM）としての役割を担っています。CMは自殺企図者に対し、自殺企図再発防止を目的とし、生活上の課題または精神疾患の治療継続上の課題を確認し、助言・指導（ケースマネジメント）を行います。自殺念慮・自殺の危険性、かかりつけ医療機関の受診状況、心理社会的状況・家族状況、相談相手・相談機関の活用状況などを精神科担当医との協働にてアセスメントを行い、治療継続の有無や新たな社会資源の利用に向けたプランニングなど、自殺企図再発防止に向けた継続支援を行っています。当院での自殺企図者への支援体制としては（図1）に示す①から④という流れで患者支援が始まります。

精神科医が起点として動き、危機介入、精神医学的・心理教育を経て、精神科的治療と併せてCMとしての救急患者精神科継続支援につながっていきます。救急外来搬送と同時に患者支援介入となるケースもあります。退院後においても、かかりつけ医療機関がない患者さまに対して継続支援を行っています。「救急患者精神科継続支援料」として診療報酬化されており、6ヶ月間の外来継続支援を行いますが、今後、長期的な治療と地域支援を要する患者さまに対しては継続的な支援につながるように地域の精神科病院の先生方をはじめ看護師・SWなど多職種の地域の皆様との地域連携が必須です。自殺防止支援体制の整備が課題であるため、今後も精神科医療における地域連携とご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

（図1）

自殺企図者への支援体制

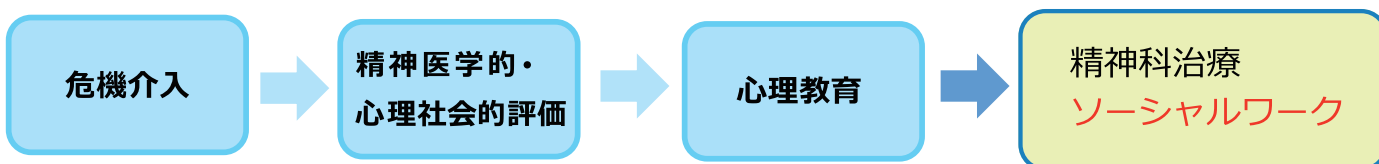
①救急部の希死念慮の確認・自殺企図の判断

救急医が患者、家族に精神科医・CMの介入の必要性を説明し了承を得てコンサルト

②精神科医の診察

③CMとの連携：CMとは自殺企図後の患者支援の研修を受けた者（医師・看護師・臨床心理士・SW）

④CMの初動：精神科医が起点として動き、支援内容に合わせてCMの専門性に合わせてつながっていく



携帯電話やスマートフォンで

診察のお呼び出し状況が確認できるサービスを始めました

当院では、診察の待ち時間を有意義にお過ごし頂く為に、お呼び出し状況が確認できるモバイルサービスを2019年2月1日より開始いたしました。ご受診の際には是非ご利用下さい。

対象となる機器



■各社携帯電話

- ・Docomo
- ・au
- ・ソフトバンク

■スマートフォン

- ・iPhone
- ・アンドロイド

※一部対応不可の機種がございます。

ご利用方法



受付票やスケジュール票のQRコードを読み取り、受付番号を入力すると診察の呼び出し状況が分かります。

※患者さまだけでなく、送迎するご家族も自宅で確認できます。

研修医レポート

臨床研修医

松岡 隼平



こんにちは。国立病院機構熊本医療センター研修医一年目の松岡隼平と申します。

早いもので研修が始まってから一年が経とうとしています。一年弱の研修を経て、まだまだ自分の力不足を痛感する毎日で、周りの同期や先輩、指導医の先生方に支えられてなんとか医療に従事することができていると感じております。

これまで6個の科を回らせていただきましたが、の中で思ったこの病院の研修の特徴は、なんといってもその症例数の多さ、緊急疾患の多さです。この一

年で、回った科のメジャーな緊急疾患は一通り見ることができたと思います。また救急外来に来院した患者様の初期対応は研修期間を通してずっと学ぶことができます。そのほかにも様々な手技や、多職種での連携を通じた病棟業務を目の当たりにし実際に参加する事で、身をもって医療がどのようにして成り立っているのかを実感しました。しかしやはり、診断や治療法だけではなく、患者様を中心として医療は行われるという当たり前のことを当たり前でできることの大切さを実感できたということが、自分の中で一番の学びだと感じています。この病院では毎日非常に多くの患者様と接する機会がありますが、医師のみならず全ての職員がしっかりとその精神に基づいて患者様に医療を提供しているということを日々肌で感じながら研修をさせていただいています。まだまだご迷惑をおかけすることばかりだとは思いますが、残りの研修生活も最大限の学びを得られるよう一生懸命に研鑽を積んで参りたいと思います。

研修医レポート

臨床研修医

森脇 健次



こんにちは。研修医1年目の森脇健次と申します。

熊本大学を卒業し、昨年の4月から熊本医療センターで初期臨床研修医として勤務させて頂いております。私は生まれも育ちも熊本で、この地で地域の皆様のために少しでも貢献できていることを嬉しく思い、日々の診療に尽力しています。

私の研修は循環器内科から始まりました。循環器内科では、一分一秒を争いながら的確な問診を行い、心電図、エコーを駆使して診断を確定していくというプロセスを学ばせて頂きました。患者さんが死ぬか生きるかの瀬戸際を乗り越え、元気に退院していく姿に大きな達成感を感じました。

救急外来では、研修医が初診にあたり、緊急性の高い患者さんがどうかを見分け、どのような検査や治療を選択すべきか考える機会を多く経験できました。まだまだ上級医の先生方のようにいきませんが、日々の救急外来の当直で精一杯頑張っています。

消化器内科では、腹部エコーの技術を身に着けるとともに、胆道ドレナージやイレウス管挿入、ESDなどの処置に入らせて頂きました。多くの患者さんが短い期間で入れ替わる科ではありましたが、先生方がその一人ひとりを治すために多大な努力をされていると知り、感銘を受けました。

腎臓内科ではシャント作成や経皮的血管形成術の手伝いをさせてもらうとともに、電解質の管理や、体液の考え方などを学ぶことができました。患者さんの評価から治療方針まで任せて頂くことが多く、自分の力になる大変有意義な研修でした。

外科では毎日様々な手術に入らせて頂きました。手術前に、手術に踏み切った理由や知っておくべき解剖のポイントを丁寧に教えて頂き、大変勉強になりました。どんな状況でも緊急手術が必要な患者さんがいればすぐさま集まり、全力で治療にあたる姿に医師としての在り方を感じました。

現在は血液内科で研修させて頂いており、急性白血病と診断された患者さんが亡くなくてもおかしくない治療を乗り越えていく姿に勇気をもらっています。それと同時に、もっと勉強しなくてはならないことを痛感している毎日です。また、先生方の日々の診療の中に学ぶべき点が多くあり、とても充実した研修を送ることができています。

もうすぐ1年が経とうとしておりますが、まだまだ未熟で、様々な面でご迷惑をおかけすることがあると思います。しかし精一杯日々の診療に尽力して参りますので、今後も御指導・御鞭撻の程を宜しくお願い致します。

歯科臨床研修医

宮本 悠基



初めまして。歯科口腔外科研修医の宮本悠基と申します。

私は、大学入学時は、開業医として働きたいと考えていました。いわゆる「町の歯医者さん」と言われるものになりたいと考えておりました。現在研修させて頂いている、病院歯科とは全く違った将来を描いていました。

しかし、いざ進路を決める時期になり、どうしても自分の心のどこかで、引っかかるものがありました。それは、「口の中しか診れない歯科医師になっていいのか。」という考えが、自分の心にあったことです。どんな患者さんの目の前にしても堂々と診療が出来る歯科医師になりたいというのが、私の目標の1つでありました。なので、最初は口腔外科で学びたい、という決断に至りました。

いくつかの施設を見学させていただき、自分が一番成長できると感じたのが、熊本医療センターでの研修でした。そして、念願叶いこの病院で研修生活を始めることが出来ました。

歯科口腔外科では、一般の歯科医院ではほとんど遭遇することのない疾患を日々診ております。学生の時までに学んだ知識だけでは、とても太刀打ちできない場面が多く、日々自分の不甲斐無さを感じております。それと同時に学べることが沢山あり、少しずつ成長を感じることが出来ております。

研修が始まって間もなく1年を迎えようとしています。まだまだ未熟な点ばかりですが、沢山の病院スタッフさんのおかげで、充実した研修生活を送らせていただいております。熊本医療センターで研修生活を送ることができて、本当に良かったと感じております。

研修期間も残り僅かですが、ここで研修出来ている事への感謝の気持ちを忘れずに、立派な歯科医師を目指すべく、日々精進していく所存です。至らない点も多い私ですが、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



研修のご案内

第166回 救急症例検討会（無料）

日時▶平成31年3月13日(水) 18:30~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

テーマ:「腹部外傷、骨折」

国立病院機構熊本医療センター外科部長

宮成信友

国立病院機構熊本医療センター整形外科部長

橋本伸朗

症例呈示とミニレクチャーを用意しています。

全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。医師以外の方にも理解できるよう配慮した内容にしています。

事前参加のお申し込みは必要ありませんので、ご自由にお越しください。

【問合せ先】 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線2630 096-353-3515 (直通)

第198回 三木会（無料）

(糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会)

[日本医師会生涯教育講座1.0単位認定]

[日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]

日時▶平成31年3月14日(木) 19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

1. 「妊娠と糖尿病」

国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科医長

小野恵子

2. 「高齢者と糖尿病」

土井内科胃腸科医院 院長

土井 賢 先生

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。

【問合せ先】 国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科部長 西川 武志 TEL 096-353-6501 (代表) 内線5441

第241回 月曜会（無料）

(内科症例検討会)

[日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]

日時▶平成31年3月18日(月) 19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

1. 内科症例検討 診療で遭遇した興味ある症例の検討を行います。

「第1症例 測定機器により検査値に差の生じたAT分子異常症の1例」

国立病院機構熊本医療センター脳神経内科医長

西 晋輔

「第2症例 消化器内科からの症例」

国立病院機構熊本医療センター消化器内科

久木山直貴

2. ミニレクチャー「拡張不全心不全に関して」

国立病院機構熊本医療センター循環器内科

中嶋直也

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線、心電図、その他がございましたら、ご持参いただきますようお願い致します。

【問合せ先】 国立病院機構熊本医療センター教育研修部長 富田 正郎 TEL: 096-353-6501 (代表) FAX: 096-325-2519

第20回 診断と治療—最新の基礎公開講座—

[日本医師会生涯教育講座 2.5単位認定]

日時▶平成31年3月23日(土) 15:00~17:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長: ひらきクリニック 副院長

大柿 悟 先生

演題: 「糖尿病合併症の治療戦略」

1. 急性合併症の治療戦略

菊池都市医師会立病院 院長

豊永哲至 先生

2. 細小血管合併症の治療戦略

国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科医長

小野恵子

3. 大血管合併症の治療戦略

国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科部長

西川武志

【問合せ先】 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線2630 096-353-3515 (直通) FAX 096-352-5025 (直通)

2019
3月

研修日程表

国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター

3月	研修センターホール	研修室
1日(金)		
2日(土)		
3日(日)		
4日(月)		
5日(火)		
6日(水)	17:30~18:30 第115回 国立病院機構熊本医療センター クリティカルバス研究会(公開)	
7日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 「頭頸部外傷 ~基礎編~」 国立病院機構熊本医療センター歯科口腔外科医師 谷口広祐	
8日(金)		
9日(土)	9:00~ 第23回 熊本PEECコース	
10日(日)		
11日(月)		
12日(火)		
13日(水)	18:30~20:00 第166回 救急症例検討会 「腹部外傷、骨折」	
14日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 「敗血症」 国立病院機構熊本医療センター救急科医長 櫻井聖大 14:00~15:30 第72回 市民公開講座 「無理のない卒煙講座」 国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科医長 小野恵子	19:00~20:45 第198回 三木会(研2) (糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座1.0単位認定] [日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]
15日(金)		15:30~16:45 肝臓病教室(研2) 「肝がんについて」
16日(土)		
17日(日)		
18日(月)		19:00~20:30 第241回 月曜会(内科症例検討会)(研2) [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]
19日(火)		
20日(水)		13:00~17:00 糖尿病教室(研2)
21日(木)		
22日(金)		
23日(土)	15:00~17:30 第20回 診断と治療 -最新の基礎公開講座- 「糖尿病合併症の治療戦略」 [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定] 座長 ひらきクリニック 副院長 大柿 悟 先生 (1) 急性合併症の治療戦略 菊池郡市医師会立病院 院長 豊永 哲至 先生 (2) 細小血管合併症の治療戦略 国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科医長 小野恵子 (3) 大血管合併症の治療戦略 国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科部長 西川武志	
24日(日)		
25日(月)		
26日(火)		19:00~21:00 小児科火曜会(研1)
27日(水)		
28日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 「臨床倫理」 国立病院機構熊本医療センター教育研修科長 原田正公	
29日(金)		
30日(土)		
31日(日)		

研1~3 2階研修室1~3

※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ (<https://kumamoto.hosp.go.jp>) をご参照ください。

問い合わせ先 〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター2階 地域医療研修センター TEL 096-353-6501(代) 内線2630 096-353-3515(直通)

発行所
国立病院機構熊本医療センター
〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号

TEL(096)353-6501(代)
FAX(096)325-2519
連携室直通TEL(096)353-6693
連携室直通FAX(096)323-7601